

令和3年度事業計画について

令和3年度 計画頭数

1. 家畜の登録、登記、検定

家畜改良増殖法により承認された各種畜の登録規程に基づき、次のとおり登録、登記、検定等を行う。

登録登記検定頭数				
種 畜	登録登記の種類	令和3年度	令和2年度	増 △ 減
乳 牛	血統登録	290	280	10
	移動証明	60	60	0
和 牛	高等登録	120	100	20
	本原登録	1,300	1,250	50
	基本登録	3,050	3,000	50
	子牛登記	31,750	31,500	250
	血統証明	300	280	20
種 豚	産肉検定	1	1	0
	種豚登録	110	100	10
	子豚登記	320	300	20
山 羊	産子登録	25	20	5
	合 計	37,326	36,891	435
会 員	乳牛会員	35	35	0
	和牛会員	2,750	2,750	0
	種豚会員	15	15	0
	種馬山羊会員	250	250	0
	団体賛助会員	2	2	0
	合 計	3,022	3,022	0

2. 家畜改良振興事業

1) 肉用牛の家畜審査講習会

畜産共進会の審査技術の向上及び地方審査委員の資格取得を目的として、家畜審査講習会を年2回開催します。

令和3年7月中旬・・・体型測定や和牛の見方の基本講習会

令和4年1月下旬・・・地方審査委員の資格取得を目的とした講習会

- 2) 沖縄県主催の家畜人工授精師(牛)養成講習会における家畜審査の科目の講義等を担当し、生産現場における家畜審査に関わる人材育成を行います。開催日時については令和3年8月上旬予定
- 3) 沖縄県農業大学校における家畜育種講座の中で、家畜の改良の講義を担当し、農林高校では家畜審査講習会の審査委員を担当し、後継者育成を支援します。開催日時については、令和3年6月上旬(家畜育種講座) 令和3年6月下旬(農林高校家畜審査)
- 4) 和牛改良組合、市町村、北部・中部・南部・宮古・八重山の各地区及び県共進会への審査委員を派遣し、農家指導を行います。
- 5) 和牛生産農家に対して、実績報告書や交配シミュレーション、分娩間隔、後継牛の対策等の指導を行います。
- 6) 各和牛改良組合に対して、生産性の高い雌牛集団を構築するため高等登録の受審促進を行います。
- 7) 県内の乳用牛の生産性向上のためホルスタイン登録協会と連携し、体型データの収集と評価を行い、乳用牛の改良を促進させるような指導を行います。

令和3年 7月・・・・・・第1回体型調査

令和4年 1月・・・・・・第2回体型調査

- 8) 種豚対策として、能力の高い指定種豚場の種豚を一般農家へ普及させると同時に指定種豚場の登記・登録豚に対し半額助成を行う。また、アグー豚登録推進を行います。
- 9) 山羊対策として「出生確認」山羊を増頭させ、現場のニーズにあった大型山羊への改良指導を行います。
- 10) 事務所の新たな機能を活かして講習会を定期的を開催するとともに、農家カルテに基づく個別指導を行う。また、農家の要望に応えられるよう関係機関との連携を強化します。

3. 全国和牛能力共進会出品対策事業

第12回全国和牛能力共進会発会式を開催するとともに、各組織と連携しながら実施計画を策定し、最終比較審査に向けた候補牛の作出を各和牛改良組合と連絡調整を進めます。また、第7区、8区の選抜候補牛の肥育農家への斡旋会を開催します。

4. 肉用牛振興推進事業

離島地域において、現状における繁殖能力及び産肉性等について調査分析し、繁殖雌牛の体型比較検討会及び研修会を行いながら、今後の地域の改良の方向性や個々の農家の育種価、分娩間隔の改善点などの指導を行います。

令和3年12月・・・・・・与那国町繁殖雌牛検討会

令和4年 1月・・・・・・竹富町黒島繁殖雌牛検討会

5. 繁殖雌牛改良促進事業

母集団のレベル向上を図るとともに、沖縄県の特色のある種雄牛造成に寄与するため、ITを活用した農家個々の情報をいち早く提供するように取り組む。

県内各改良組合において、地域の特徴を伸ばすことや、地域の問題点を課題として取り上げるとともに、飼養管理技術の向上や肥育農家技術向上を図るための研修会を下記地区で実施する。

- 石垣地区, 宮古地区 令和3年7月
- 北部地区, 中部地区, 南部地区 令和3年10月上旬
- 久米島地区, 伊江地区 令和3年10月下旬
- 肥育技術向上検討会 令和3年7月、9月

6. 沖縄県有種雄牛凍結精液利用推進事業

沖縄本島及び周辺離島及び宮古島地域において、県種雄牛のPR及び利用促進を促し生産農家に県種雄牛の能力の高さと次世代の若雄種雄牛の指定交配等を推進させ、地域の特色ある牛づくりに寄与します。

7. 優良肉用牛生産推進事業

県内優良肉用牛生産基盤及び肉質向上推進のため、県内生産農家に脂肪交雑の上位1,500番以内の母牛に優良種雄牛の交配シミュレーションを行うとともに、農家に通知して計画交配を推進させ、また、期待の期待、期待育種価及び分娩間隔等を送付して能力の高い後継牛保留対策を促進させるため農家指導を行います。

8. 家畜人工授精用精液取扱事業

沖縄県畜産研究センター及び一般社団法人家畜改良事業団熊本種雄牛センターの家畜人工授精用精液を県内で開設している家畜人工授精センターや人工授精師へ供給する。また、家畜人工授精システムを導入したので、今後は家畜人工授精師の記入ミスのない授精証明書の発行と家畜人工授精師業務の負担軽減を図ります。

9. おきなわ山羊改良基盤整備事業

おきなわ山羊を大型化するため優良種畜の測定や選抜・選定を実施して山羊の改良を行い、計画交配や国外から優良山羊を導入して1頭当たりの肉量増加を図り、生産効率向上に取り組めます。

10. その他

- 1) 和牛改良組合連絡協議会、沖縄県家畜人工授精師協会及び指定種豚場連絡協議会の任意団体に対し円滑な事業を推進させるため積極的に支援を行います。
- 2) 肉用牛振興協議会と連携して肉用牛飼養管衛生管理マニュアルを周知徹底させ、死廃子牛頭数の低減に努めて、分娩間隔の短縮に寄与します。
- 3) 血統矛盾の再発防止のため家畜人工授精師協会会員に対し、家畜人工授精に関する書類整備等の再確認を周知徹底させるための講習会を行います。